

- [1] &HAND / アンドハンド やさしさから やさしさが生まれる社会へ
<https://www.andhand-project.com/>
- [2] 大野雄基, 手嶋一訓, 加藤大智, 山岸弘幸, 鈴木秀和, 旭健作, 山本修身, 渡邊晃: "TLIFES" を利用した徘徊行動検出方式の提案と実装, 情報処理学会論文誌 コンピュータ・デバイスシステム, Vol.3, No.3, pp.1-10(2013)

スマートフォンを利用した相互扶助 支援システムの提案

名城大学 理工学部 情報工学科
種田拓人 渡邊晃



研究背景

- ▶ 単独で旅行をする高齢者・障がい者の増加
 - 東京オリンピック・パラリンピック, 大阪万博などの開催
 - 旅行支援の要求の増加
- ▶ スマートフォンの普及
 - 誰もが持つデバイス
 - どこにいても通信できるモバイルネットワークの充実

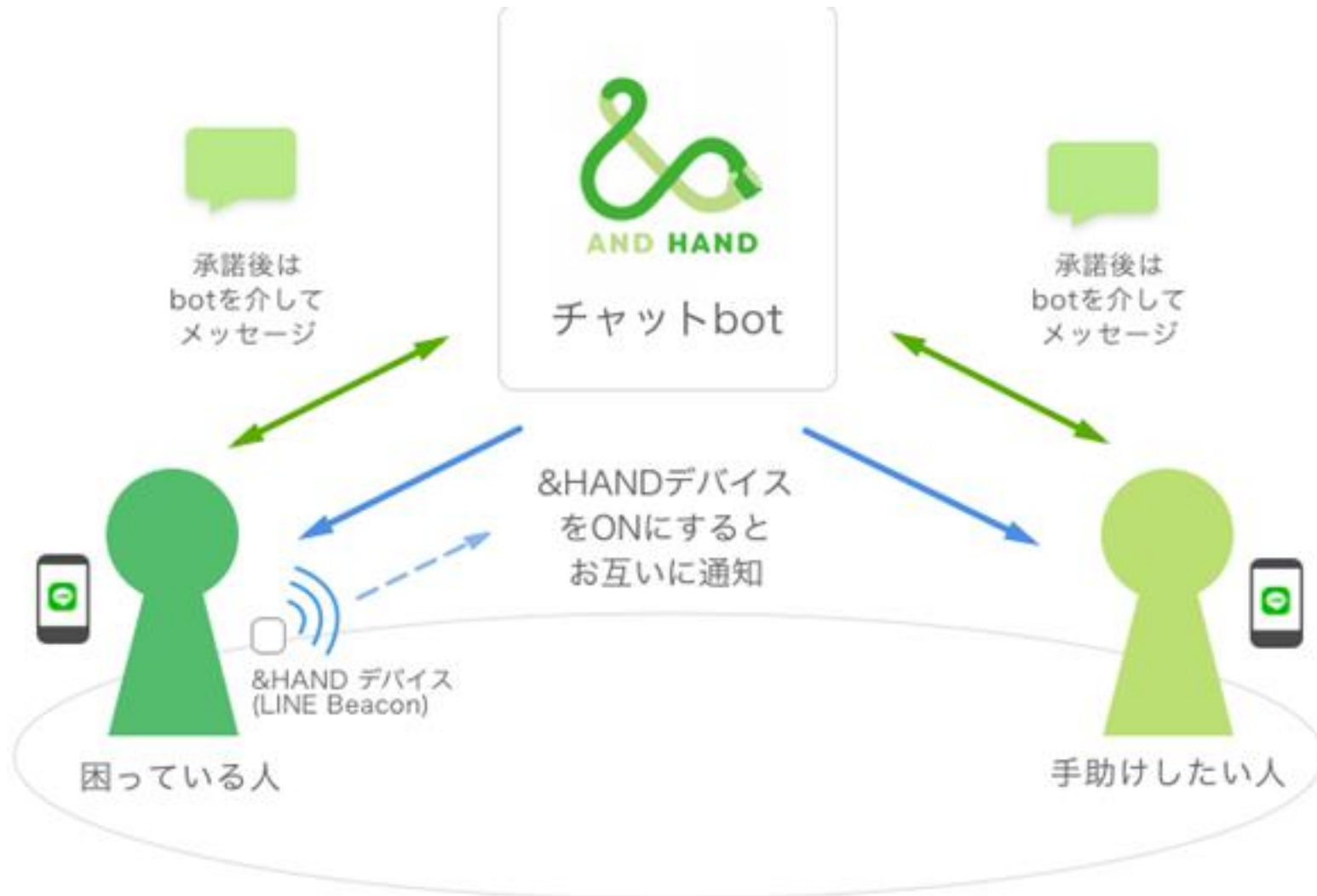
研究目的

- ▶ 高齢者・障がい者に向けた相互扶助支援システムの提案
 - 旅行先で支援が必要な時、周りにいる支援してくれる人と気軽につながることができる仲介システム

類似のシステム

- ▶ 一般社団法人PLAYERSが運営する「&HAND」
- ▶ 身体障害者など外出に不安や困難を抱えた人と手助けしてくれる人をLINEでマッチングしてくれるシステム
- ▶ 現在は大阪府や福岡県の一部の地域で実証実験を行っている

「&HAND」の概要



「&HAND」の概要

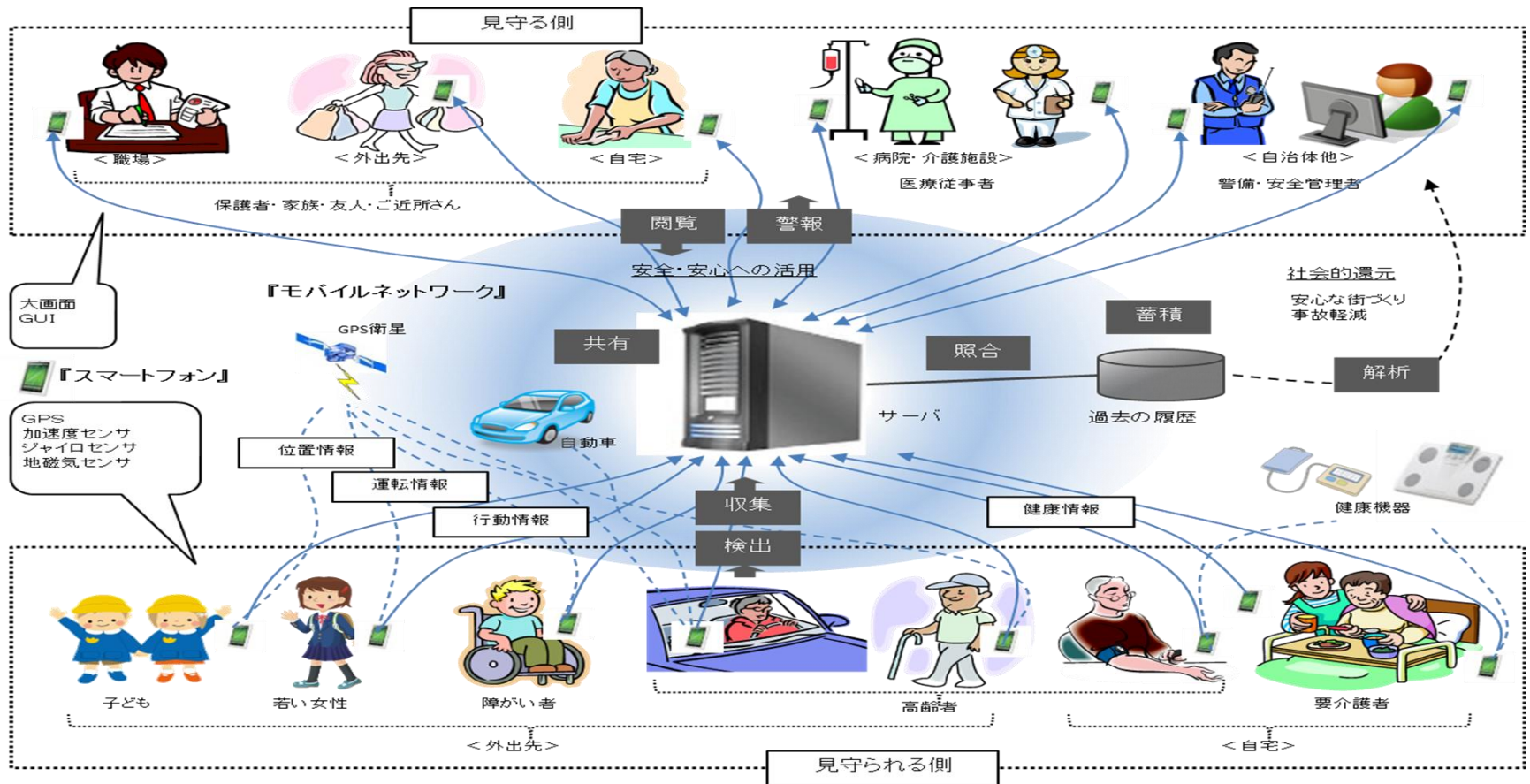
「たすけっと」実施エリア： 天神バスのりば



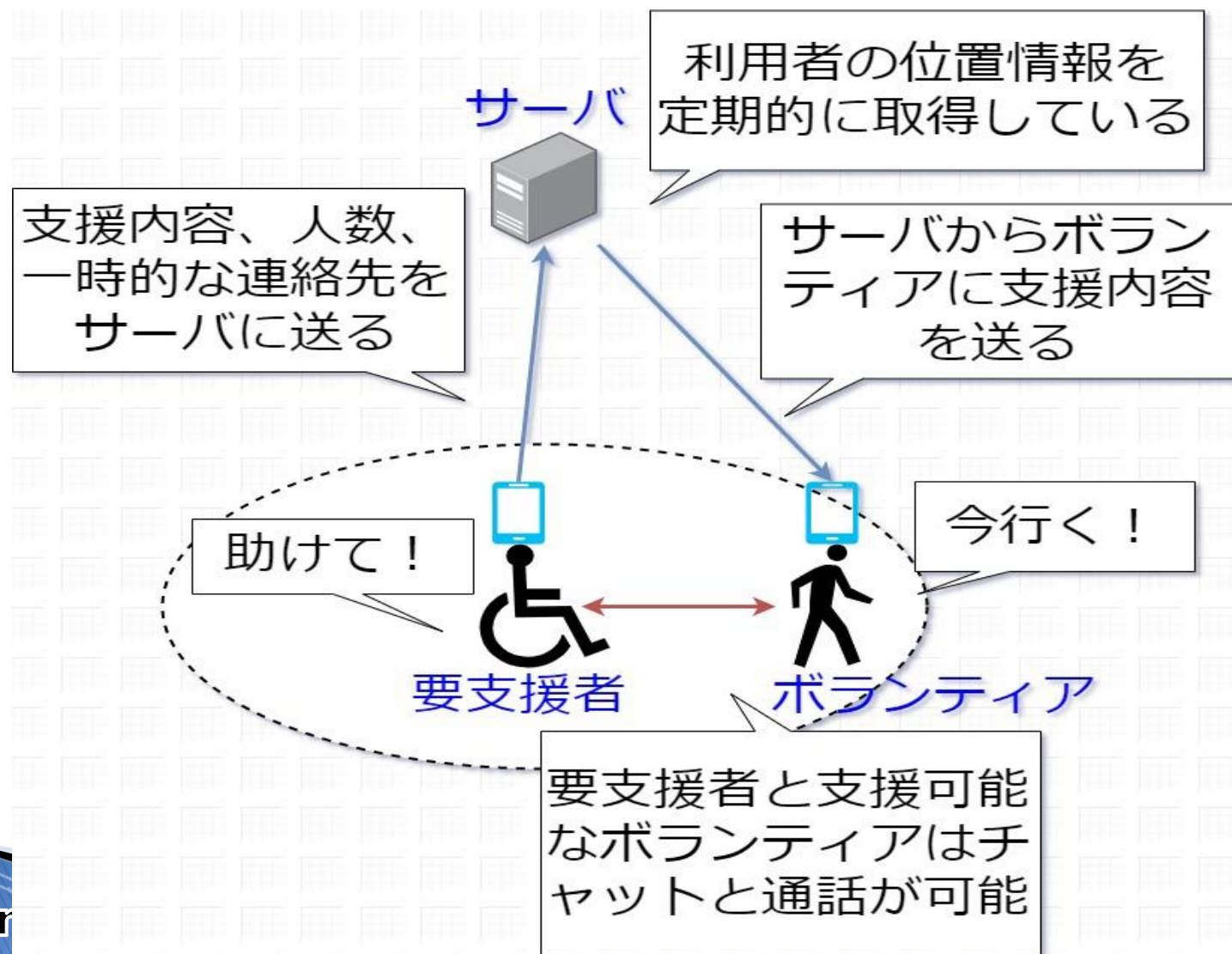
「&HAND」の課題

- ▶ マッチング相手との距離
 - すぐ近くにマッチングできるボランティアがいても遠くのボランティアと先にマッチングする可能性がある
- ▶ 待ち合わせ場所を決めなければならない
 - 要支援者がその場から動けない場面には適さない
- ▶ チャットボットを介してのやり取りしかできない
 - 選択式でのやり取りになるので詳細を伝えるにくい

TLIFESの概要



提案方式



インタフェース

- ▶ Prottを用いて作成
 - Prottとはインタフェース作成ツールのひとつ
 - <https://prottapp.com/p/2bc765>

提案したシステムの利点

- ▶ 要支援者を中心に依頼を送信する
 - 近くにいるボランティアからマッチングする可能性が増える
- ▶ 位置情報を利用している
 - 要支援者がその場から動けない場面にも対応可能
- ▶ 要支援者とボランティアとの直接連絡がとれる
 - 伝えたいことが直接伝えられる
 - 道案内程度なら、チャットか通話で解決できることも

まとめ

- ▶ 研究背景, 目的
- ▶ 類似のシステムの紹介
- ▶ 提案システム
- ▶ 作成したProttの紹介

今後の予定

- ▶ 作成したProttを評価, 改善を繰り返し実際にアプリケーションの実装を行う